

保護者等からの事業所評価の集計結果

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	でらいとわーくジュニアから保護者様へ
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	1		東京都や大田区の指導の下、適切なスペースを確保しております。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	1		法律上定められた人数を配置しております。専門性を身に付ける為、職員は可能な限り研修に参加しています。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	5	3		建物の構造上、スロープや手すり等の設置は難しい状態の為、出来る限りの対応を職員がしております。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか(*1)が作成されているか	11	2	1	・こと細かくきちんと見て頂いていると思います。 ・親がよくわからないことまで早い時期から支援して頂いています。	利用者の退所後に、毎日ミーティングを行い、支援の中心課題を抽出し、児童発達支援管理責任者が個別支援計画に反映させています。
	⑤ 活動プログラム(*2)が固定化しないよう工夫されているか	12	1	1	・様々な体験をさせて頂いています。	会議の議題として必ず話し合いをしております。利用者である子供達に多くのことを経験してもらうことが重要と考えています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	7	3		児童クラブや児童館との交流はありませんが、でらいとわーくグループの【就労移行支援事業所】との交流を年数回、行っています。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	1	・詳細をいつも丁寧に説明してもらっています。	契約時の説明は勿論、定期的に説明をしています。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達支援の状況や課題について共通理解ができているか	11	2	1	・お電話やお手紙やメールで細かくお伝え頂いて安心します。	サービス提供記録を中心に必ず行っています。補足が必要な際は、手紙やメール、電話等での連絡にて対応しています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	3	1	・長い時間、お話を聞いてもらったり、ご支援を頂き助かりました。	急を要する保護者様を中心に面談は年間を通じて行っております。また、保護者様を対象とした専門のカウンセラーを設置し、相談室を開設しています。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	8	5		当事業所の課題のひとつとなっています。今後、開催に向けて考えております。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3	0		契約時に契約書内に記載されている内容を必ず説明しております。また、大田区のオンブズマン制度についても教室内に案内を貼りだしております。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2	0		保護者の思いと利用者(子供)の思いをつなぐ役割である為、慎重な対応を心掛けています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	・ホームページもジュニア通信も楽しく拝見させて頂いています。(自己評価結果も)。	定期的に瓦版『じゅにあ通信』を発行しています。また、課外プログラムのご案内は別途、手紙を配布しております。自己評価の結果に關してもホームページに掲載している旨をご案内しています。
⑭ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0		事務所内の鍵付きの棚で個人情報等は徹底して管理を行っております。	
非常時等の対応	⑮ 緊急対応時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1	1	・詳しくお手紙がきています。	契約時に必ず説明しております。また、行政側からの通達に關しても、ご案内をだしております。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか(*3)	13	0	1	・詳しくお手紙がきています。	年2回(春・秋)、実施しております。実際の避難所へ利用者連れていくことで意識を高めてもらっています。また、避難場所についての案内は地図と共に保護者へ配布しています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	・大変楽しみにしています。 ・3年目ですがいまだに喜んで通っています。	教室の空気(雰囲気)を大事にしています。誰もが楽しめるように今後も工夫をしていきます。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	12	2	0	・でらいとわーくを見つけてられて、親子ともに本当に良かったと思っています。	個別の支援に特化している事業所の為、支援内容は様々ですが、主役である利用者(子供)と保護者の双方から満足頂けるように創意工夫をしていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質の向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供するうえでの留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動こと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*3 毎年、春と秋の2回、訓練を実施しております。春は一次避難場所(蒲田小学校)、秋は二次避難場所(新宿小学校)へお子様達を実際に連れて行くことで、意識を高めております。